

札幌社保協 FAXニュース

2007年 6月19日(火)
社保協事務局 発行
Tel.823-0867 Fax821-3701
E-mail:s-syaho@kin-ikyo.or.jp
http://www.sapporo-syahokyo.jp/

国保・介護110番
6月28日(木)です

格差・負担増に対抗し、 共同を強めて地域からたたかおう！ —札幌社保協が定期総会を開催—



札幌社会保障推進協議会の第10回定期総会が6月15日開かれ、4地域社保協・24団体から40人が参加して活発な議論を行ないました。

あいさつした佐藤宏和代表委員は、住民税増税と国保料などの引き上げで負担増が押し寄せていること、市長選挙では2つの陣営が敬老パスや福祉問題で競うという極めて珍しい争いになったことを紹介し、障害者団体が障害者自立支援法の応益負担撤回で大きなたたかいを進めていることに学んで、たたかおうと、呼びかけました。

互いの情報を共有し、社会保障改悪・負担増とたたかおう！

齊藤浩司事務局長は今年のスローガン「憲法25条・生存権を守ろう！、格差拡大・国民負担増に対抗し、地域からくらしを守る運動を！」に基づいて報告しました。この1年間で社保協や加入団体が前進させてきた様々な点、今取り組まれている負担増への反対・相談活動への反響が大きくなっていることを紹介し、今年の運動の柱として、①憲法25条・生存権を守る学習・運動、②住民負担増に対抗する宣伝・運動、相談活動の強化、③08年医療改悪の内容を知らせ、負担増に反対する運動、④社会保障改悪から住民を守る自治体での軽減策の要求、⑤社保協の組織強化を提案しました。

参加者からは、後期高齢者医療制度をもっと知らせ運動すること、生活保護母子加算の削減に対する審査請求と支援の運動、学童保育の署名のとりくみへの協力、介護現場で進んでいる実態、障害者控除認定の運動での前進などが報告されました。

役員には高崎裕子、舛田和比古、佐藤宏和（以上再）、諏訪田秀樹（新・地区労連副議長）の代表委員、齊藤浩司事務局長（再）を選出しました。

増税・年金 —どうなってるんだ！

年金支給日の6月15日、年金者組合札幌支部協各支部と地域社保協が共同で、増税反対！最低保障年金制度の確立！を訴えて、宣伝と署名を行ないました。札幌市内では東区、西区、白石区、厚別区、南区、手稲区で取り組まれ全体で約90人、年金署名611、ピラを1500枚配布しました。

話しかけてくる人がたくさん—東区

東区では区役所前で年金者組合・東区社保協の17人で宣伝。年金者組合・社保協代表・宮川共産党市議が次々とマイクで訴えると、署名はもちろん、消えた年金問題や増税について話しかけてくる人がたくさんいました。

「長生きできないわ！」

西区では、年金者組合の定例宣伝と西区社保協の17名の参加でピラまきを行いました。ピラの受取が大変よく500枚のピラは、全部なくなり、足を止めて話しかけてくる人、「長生きできないわ！」と怒っている人など反応がありました。

「増税・年金」に多くの人が振り向く

白石では年金者組合と札幌社保協代表15人が、駅スーパー前と銀行前の2箇所に別れて宣伝。住民税増税や年金の訴えに年配の人だけでなく、若い人も足を止めて署名をしていきました。

↓東区役所前での宣伝
↓白石、地下鉄菊水駅前

